

各地域での説明会の意見結果について（令和6年度）

実施箇所 18地域 ※（ ）書きは参加人数

9/17 上浦地域(30)、9/19 大三島地域(17)、9/25 関前地域(7)、9/26 伯方地域(18)、9/27 菊間地域(55)、
9/30 吉海地域(30)、10/1 宮窪地域(17)、10/2 玉川地域(51)
10/7 波方地域(24)、10/8 朝倉地域(28)、10/9 南中校区(21)、10/10 大西地域(12)、
10/11 日吉中校区(23)、10/15 北郷中校区(24)、10/16 西中校区(17)、10/17 近見中校区(8)、
10/18 立花中校区(9)、10/21 桜井中校区(21) 合計 412人

意見

●スケジュール

- ・スケジュールについては、丁寧に進めていくべき。いつまでに決めることも大事だが、もっと話し合いをするなどして進めないと、上手くいかないと思う。
- ・今後どうなっていくにしろ、決定スピードを速くしてほしい。子どもの進路を考える上でいくつかのパターンを検討するにしろ、早い段階で決めて欲しい。

●適正配置について

（統合に積極的なご意見）

- ・子どもは刺激し合って成長すると思う。少人数では競争相手がいない、合唱や団体競技もできない。子どものことを第一に考えて統合を進めてほしい。
- ・結局ずっと少子化の議論は続くので、思い切って統合するべき。子どもの数が多くないと競争力は育たない。

（現状維持のご意見）

- ・統廃合を目標とするのではなく、現状維持に対する努力を考えて欲しい。

（小規模な適正配置のご意見）

- ・人口が減っていくのであれば、小規模の適正配置の考えにシフトした方がいい。
- ・子どもは少なくなるが、地域に学校を残してほしい。
- ・学校を超えた交流をすれば、少人数によって活動が制限される課題は、ある程度解決するのではないか。学校の統合もいいが、行事を統合することも刺激につながるのではないかな。

（その他のご意見）

- ・経費の話がされないが、統合することで経費を福祉に回せるなど、統合は悪いことばかりではない。全体がより良くなるということがわかる資料を示してほしい。
- ・10年、20年先の子どもの数を考えるべき。短期間に統合を繰り返されると、子どもも地域も負担になる。よく先を見据えて検討してもらいたい。
- ・通学も含め、子どもの安全について考えて欲しい。
- ・統廃合は、1学校周辺の問題ではなく、地域としてどのような学校を目指していくのか。準備段階で色々な人の意見をくみ取り、その地域が求めるものを作っていくしてほしい。
- ・過去に統合された地域の声や意見をくみ取って活かしてほしい。
- ・統合する場合、廃校になる側だけでなく新たな学校になる両者に意見を聞いて進めてほしい。

●小規模校の良さについて

- ・少人数の学校であるが、満足度が高く子どもも楽しく勉強できている。この環境を残してほしい。
- ・市外から（小規模校区に）移住し、子どもの学力が格段に上がり、前向きになった。小規模校にメリットを感じているので、良さを残してほしい。
- ・不登校気味であった子どもが小規模校に転校したら学校に通えるようになった。
- ・少子化は続き、いずれ小規模校で運営せざるを得なくなる。学校は大きければ良いというものでもない。濃密な人間関係が築けるなど、小規模校のメリットに目を向けるべき。

●小中一貫校について

- ・子どもの数が減り、統合は仕方ないが小中一貫校としてでも地域に学校を残してほしい。他市町では特色のある学校づくりと合わせて事例が様々ある。
- ・小中一貫にしても各学年の人数が増えるわけではないので、各学年の人数を増やすには統合しかない。

●特色ある学校づくり、校区制の緩和について

（特色ある学校へのご意見）

- ・FC 今治高校のように今治市で教育を受けさせたいような、特色を持つ学校に変えることも検討してほしい。
- ・地区の学校で部活動がないなどの理由がなければ、学校間移動は出来ないが、自由に選択できることはいいと思う。柔軟な教育を行い、選んでもらえる特色のある学校づくりを目指してほしい。
- ・児童の数で適正化を図るのであれば、小規模校を統合する以外に、規模の大きい学校の児童が小規模校を選択してくれるような方法も適正化を図れる手段の一つだと思う。
- ・不登校で学校に来られない児童生徒も多いと聞く。今治市でも不登校の子を受け入れ、専門的な対応が出来る先生のいる学校を作ることを検討してほしい。
- ・統合時に、環境変化から不登校になる子もいた。統合後のアフターケアとして、学校選択を出来るようになるといいと思う。
- ・教員の仕事が細分化され、仕事が増えたというのなら、IT等を利用し改善すればよいのでは。先生だけで解決できないことは民間有識者の意見も聞きながら、開かれた学校にして解決すべき。

（校区に関するご意見）

- ・小学校と中学校では校区のあり方が違う。小学生のうちは地域で子どもが育つので小学校での校区緩和はやめてほしい。

●アンケートについて

- ・出来れば、ICTを活用するなどして、中学生など子どもたちの意見を聞いて欲しい。
- ・アンケートの対象を、未就学児の保護者や妊娠している方にも拡大してほしい。
- ・地域の自治会長や総代などにアンケートを取ってほしい。

●情報発信について

- ・決定していることや協議の進捗が分かるように情報発信してほしい。
- ・ホームページは見ないので、プッシュ型で情報を受け取れるようにしてほしい。
- ・保護者が正しい判断ができるよう正しい情報を提供してほしい。
- ・今までやってきたこと、現状で行っている取り組みを加えて説明してほしい。
- ・これから子どもを育てようとする家庭の声、今問題を抱えている人の声を聞く手段を丁寧に作っていただきたい。

●移住促進や人口減少対策について

- ・子育て世代の方、移住を検討される方のためにも、どうすれば今の規模を維持できるのか、人を呼び込めるのか、県外から移住してくる人をいかに取り込めるかを目標に議論してほしい。
- ・地域から学校がなくなれば過疎化が進むので、学校をなくすよりも生徒数を増やす努力をしてほしい。全国的には若い子育て世帯が移り住んでいる自治体もある。
- ・今後、外国人労働者が増え、そのお子さんも増えてくると思う。そういうことを想定して迎え入れて欲しい。
- ・学校をどうするかも大切だが、出生数を増やすことが一番だと思うので、そこ（出生数の増加に）積極的に取り組んでいただきたい。